

第4回：在宅医療カフェ（近江地区）

開催日時 平成27年2月12日（木）15:00～16:40

（地）地域を支援する方 （支）医療福祉支援者 ●タイトル（表札） ◎スローガン

《1Gの意見交換》

◎どうなる近江地域・・・不安なく安心して暮らせる地域に！！

●医療資源の不安

- ・訪問医師が減っている（地）
- ・大きな病院がない（支）
- ・病院の待ち時間が長い（支）
- ・支える人が少ない（支）

●老いていく事の不安

- ・老いてからの看病（地）
- ・高齢者のみや独居の世帯が増加（地）
- ・一人暮らしの病院通い（地）
- ・ちょっとした不安を誰にどのように話したら良いか（支）
- ・老々介護（介護者が限定）（支）
- ・独居・頼る人がいない（支）
- ・若い方が家におられないので大変な方がいる（支）

●交通手段の不安

- ・交通機関がない（地）
- ・病院に行きたいときにすぐに行けない（支）
- ・車がないので通院できない方がいる（支）

●孤独の不安

- ・家族地域関係の希薄化（地）
- ・地域の関係、希薄になりつつ（支）
- ・家族の方が1人で通院させるのが心配で。との事で中々通院できない（支）

●勉強会

- ・高齢者を理解する研修を地域で行う（地）

●地域力向上

- ・福祉委員を1~2人増員して地域のリーダーになって頂く（地）

●生活環境の不安

- ・放火（地）
- ・犯罪事件（地）



《2Gの意見交換》

◎地域の繋がりを深め高齢者が住み良い町にしよう！！

●交通が不便

- ・交通が不便（バス・鉄道） 3人（支）
- ・医療受診するための交通手段自家用車が多く公共の交通手段が乏しい（支）

●地域の繋がり

- ・介護保険制度の改正で要支援1・2の人を地域で介護する事になるが振興住宅地ではその気運が全くない（地）
- ・サロンへの参加が固定化している（地）
- ・地域の繋がりが無くなってきている（支）

●高齢者世帯

- ・高齢世帯が増えてきた（地）
- ・高齢者のみの世帯で妻（80歳代）が病弱の主人（90歳代）の介護をしているが将来共倒れの不安がある（地）
- ・高齢者世帯が多い（支）
- ・高齢世帯が増えている（支）
- ・独居高齢者が多い（支）
- ・若い人は地域の外に出て高齢者は独居や老夫婦世帯が多くなる（支）

●買い物がしにくい

- ・身近で買い物ができる所が少ない（支）
- ・配達してもらえるお店が少ない（支）

●生活上の不安がある

- ・男性独居（地）
- ・1人住いの方で医療福祉の方に世話になっていない人の健康が心配（地）
- ・困りごとがあっても遠慮されるのか中々言われない（地）
- ・病気を抱えて不安におびえている高齢者の救済（地）
- ・定年退職後も父母の介護のため楽しみにしていた海外旅行に行けない（長寿化）（支）

●仕事の問題

- ・産業が少ない

●少子化問題

- ・少子化（人口の流出）（支）

●認知症の事

- ・認知症の問題（支）

●医療機関があって安心

- ・往診してもらえる（支）

《3Gの意見交換》

◎世代間交流を図ろう（子供と高齢者）

●少子化

- ・子供は外で遊ばない（地）
- ・親は野放し状態または過保護・・・友達の家遊びに行くにも親が送迎（支）
- ・子供と親の教育が必要（支）

●認知症

- ・認知症の方が増える・・・その対応は？（地）
- ・認知症への不安（地）
- ・認知症の増加（支）



●独居の課題

- ・独居老人→日常生活の不安（地）
- ・独居老人の増加（地）
- ・独居暮らしが多くなった（支）

●介護問題

- ・介護者の不足（支）
- ・老々介護（支）
- ・未婚の子が親の介護（支）

●交流の場がない

- ・近くに趣味を生かせる場がなく困っている

●寝たきりの不安

- ・寝たきり（地）

●地域の問題

- ・米原市でも格差 隣の地域は団地が増設され人口増なのに昔ながらの地域で高齢化が進行（地）
- ・今は運転できるが何時できなくなるか不安。通院などに支障が出る（地）
- ・近隣との付き合いが無くなった（支）
- ・空き家の増加（支）

●専門職の不足

- ・言語聴覚士（ST）の不足
病院でも4人 地域まで人材が行き着かない

●地域密着施設が新設

- ・近江福祉センターの開設（支）
- ・地域密着型施設がある（支）



～あとがき～

近江地域は、田園地帯で医療環境も良く福祉施設の新設など住み良い地域と思っていたが、実際そこで暮らしている方に話を伺うと、色々と課題を感じておられることが分かった。暮らしの有り様や住民意識など、そこで暮らす方々のニーズは其々の地域ごとに違うのだと改めて感じる事ができた。また、カフェのような雰囲気での話し合いのため住民さんから多くの意見を頂戴する事ができた。今年度は在宅医療カフェを4回計画し実施できたが、湖北には20か所の中学区があり、次年度も同様に計画し地域ごとのニーズを把握していきたい。